

リモート I O RM5500 入力専用タイプ

製品型式 RM5500A-IN

基板製品

製品型式 RM5500C-IN

ケース入りユニット製品

リモート I O 入力専用タイプ RM5500A-IN および RM5500C-IN は、マスタースレーブモードのみで使用できます。

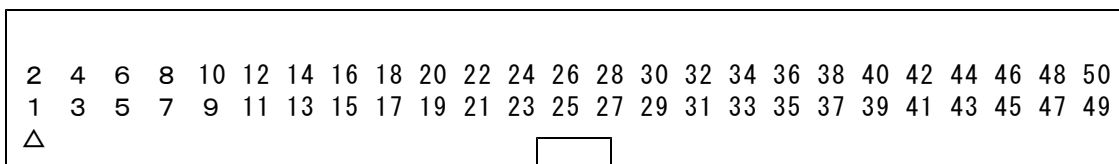
パソコンと接続するには、別途にインターフェイスBOX RM55HB が必要となります。マスタースレーブモードのみで動作します。スレーブモードでは使用できません。

1. CN1 デジタル入力コネクタ ピン配置 (入力専用タイプ)

50Pフラットケーブル用

基板側 型式 オムロン XG4C5031

ケーブル側 型式 オムロン XG4M5030



1	デジタル入力	bit 0 (LSB)	2	デジタル入力	bit 1
3	デジタル入力	bit 2	4	デジタル入力	bit 3
5	デジタル入力	bit 4	6	デジタル入力	bit 5
7	デジタル入力	bit 6	8	デジタル入力	bit 7
9	デジタル入力	bit 8	10	デジタル入力	bit 9
11	デジタル入力	bit 10	12	デジタル入力	bit 11
13	デジタル入力	bit 12	14	デジタル入力	bit 13
15	デジタル入力	bit 14	16	デジタル入力	bit 15
17	デジタル入力	bit 16	18	デジタル入力	bit 17
19	デジタル入力	bit 18	20	デジタル入力	bit 19
21	デジタル入力	bit 20	22	デジタル入力	bit 21
23	デジタル入力	bit 22	24	デジタル入力	bit 23
25	0V		26	0V	
27	デジタル入力	bit 24	28	デジタル入力	bit 25
29	デジタル入力	bit 26	30	デジタル入力	bit 27
31	デジタル入力	bit 28	32	デジタル入力	bit 29
33	デジタル入力	bit 30	34	デジタル入力	bit 31
35	デジタル入力	bit 32	36	デジタル入力	bit 33
37	デジタル入力	bit 34	38	デジタル入力	bit 35
39	デジタル入力	bit 36	40	デジタル入力	bit 37
41	デジタル入力	bit 38	42	デジタル入力	bit 39
43	デジタル入力	bit 40	44	デジタル入力	bit 41
45	デジタル入力	bit 42	46	デジタル入力	bit 43
47	デジタル入力	bit 44	48	デジタル入力	bit 45
49	デジタル入力	bit 46	50	デジタル入力	bit 47 (MSB)

2. 入力信号仕様

全ビットがTTL入力です。

信号仕様詳細は、RM5500AまたはRM5500C取扱説明書を参照ください。

3. 拡張入力（入力専用タイプbit47～24）の読取方法

標準仕様のデジタル出力コマンドのコマンド識別文字コードを、w（小文字）として送信すると、デジタル入力データとして、w（小文字）の応答識別文字コードにて、bit 47から24までのデータが返ってきます。

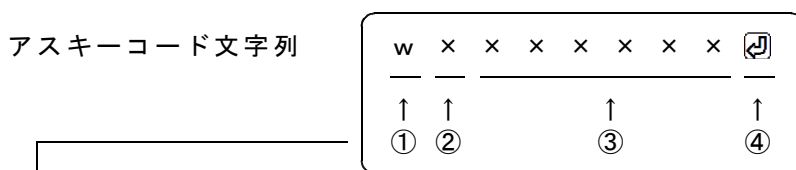
Wおよびwコマンドともに、出力データを指定するデータ欄は、適当な数値（たとえば0）を指定するか、または省略して送信してください。（デジタル出力機能はありません）

拡張入力以外の標準機能については、

「リモートI/Oインターフェイスボックス RM55HB」取扱説明書をご覧ください。

ご注意 本項にて説明するデジタル入力データ形式は、パソコンから送信するコマンドではありません。パソコンから送信する「wコマンド」に、RM5500A-IN または、RM5500C-INが応答するデータ形式を説明しています。

拡張デジタル入力データ形式

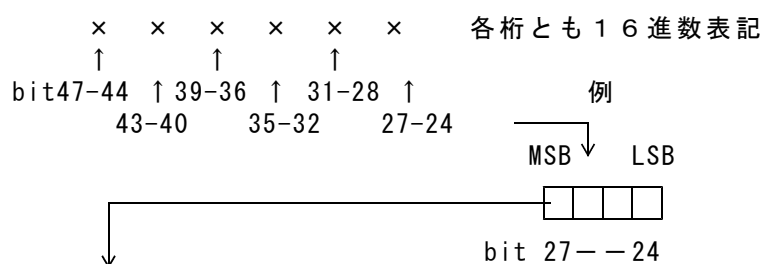


① w（小文字） デジタル入力応答識別文字コード

② 1～4 wコマンドで指定した接続ポート番号（ID番号）
wコマンドにて指定したポートにI/Oユニットを接続していないときは、応答が0番となります。

（注）入力専用タイプと異なるI/Oユニットを接続しているときは、なにも応答がありません。

③ 000000～FFFFFF 16進数6桁表記（大文字）
デジタル入力内容。



1にて、TTL入力Highレベル
0にて、TTL入力Lowレベル

wコマンドでデータ省略があっても、応答内容には省略はなく、常に固定長です。

④ 区切りマーク アスキー OD（H） キャリッジリターンコード
または & 文字コード
対応するコマンドの末尾と同じコードを返します。

動作

RM5500A-IN または RM5500C-IN は、wコマンドを受信すると、拡張デジタル入力データをホスト（パソコン）に返します。

リモート I O RM5500 出力専用タイプ
 製品型式 RM5500A-OUT 基板製品
 製品型式 RM5500C-OUT ケース入りユニット製品

リモート I O 出力専用タイプ RM5500A-OUT および RM5500C-OUT は、マスタースレーブモードのみで使用できます。

パソコンと接続するには、別途にインターフェイスBOX RM55HB が必要となります。マスタースレーブモードのみで動作します。スレーブモードでは使用できません。

1. CN1 デジタル出力コネクタ ピン配置 (出力専用タイプ)

50Pフラットケーブル用

基板側 型式 オムロン XG4C5031

ケーブル側 型式 オムロン XG4M5030

2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48	50
1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23	25	27	29	31	33	35	37	39	41	43	45	47	49
△																								

1	デジタル出力	bit 0 (LSB)	2	デジタル出力	bit 1
3	デジタル出力	bit 2	4	デジタル出力	bit 3
5	デジタル出力	bit 4	6	デジタル出力	bit 5
7	デジタル出力	bit 6	8	デジタル出力	bit 7
9	デジタル出力	bit 8	10	デジタル出力	bit 9
11	デジタル出力	bit 10	12	デジタル出力	bit 11
13	デジタル出力	bit 12	14	デジタル出力	bit 13
15	デジタル出力	bit 14	16	デジタル出力	bit 15
17	デジタル出力	bit 16	18	デジタル出力	bit 17
19	デジタル出力	bit 18	20	デジタル出力	bit 19
21	デジタル出力	bit 20	22	デジタル出力	bit 21
23	デジタル出力	bit 22	24	デジタル出力	bit 23
25	0V		26	0V	
27	デジタル出力	bit 24	28	デジタル出力	bit 25
29	デジタル出力	bit 26	30	デジタル出力	bit 27
31	デジタル出力	bit 28	32	デジタル出力	bit 29
33	デジタル出力	bit 30	34	デジタル出力	bit 31
35	デジタル出力	bit 32	36	デジタル出力	bit 33
37	デジタル出力	bit 34	38	デジタル出力	bit 35
39	デジタル出力	bit 36	40	デジタル出力	bit 37
41	デジタル出力	bit 38	42	デジタル出力	bit 39
43	デジタル出力	bit 40	44	デジタル出力	bit 41
45	デジタル出力	bit 42	46	デジタル出力	bit 43
47	デジタル出力	bit 44	48	デジタル出力	bit 45
49	デジタル出力	bit 46	50	デジタル出力	bit 47 (MSB)

2. 出力信号仕様

全ビットがTTL出力です。

信号仕様詳細は、RM5500AまたはRM5500C取扱説明書を参照ください。

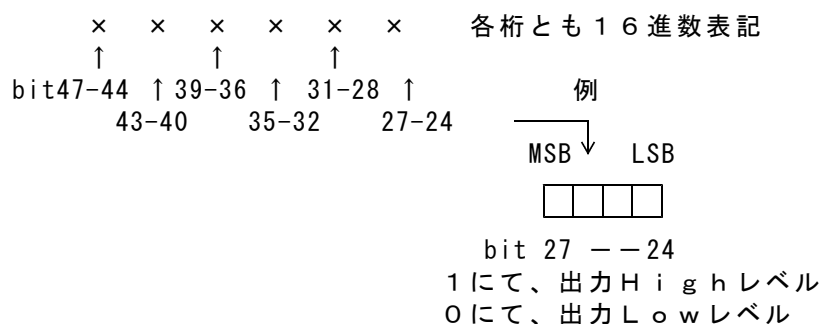
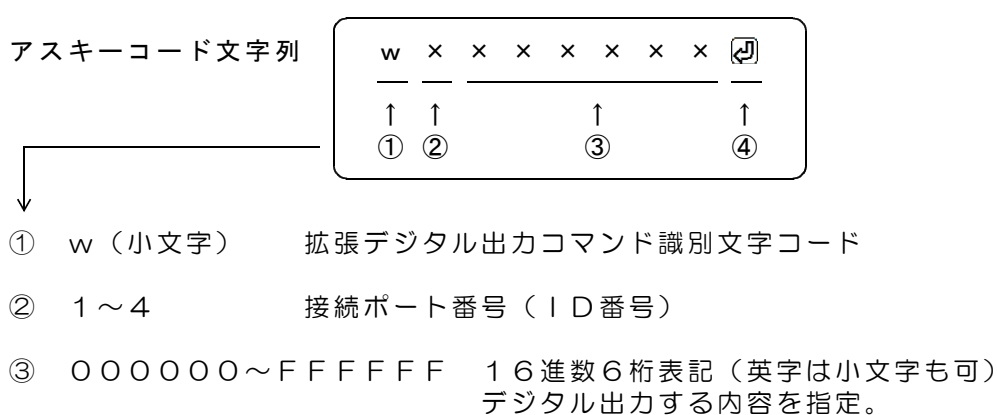
3. 拡張出力（出力専用タイプbit47～24）の送信方法

標準仕様のデジタル出力コマンドのコマンド識別文字コードを、w（小文字）として送信すると、デジタル出力、bit 47から24までを書込むことができます。このときのRM5500A-OUTからの応答は、w（小文字）の識別文字コードにてもどってきます。

拡張出力wコマンドのw応答のデータ欄は、送信したデータをそのまま返信してきます。また、標準出力WコマンドのR応答のデータ欄は、その前に出力を指定した内容が返ってきます。（いずれも、デジタル入力機能はありません）

拡張出力以外の標準機能については、「リモートIOインターフェイスボックス RM55HB」取扱説明書をご覧ください。

拡張デジタル出力コマンド



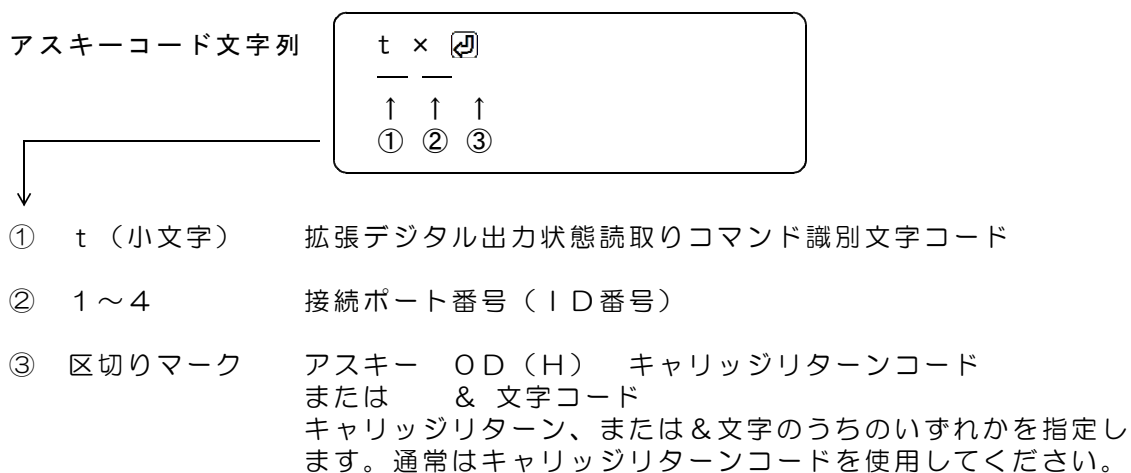
0～9の数字、A～F（大文字）およびa～f（小文字）以外の文字は指定できません。

③項のデータを途中から省略することはできません。途中から省略すると、指定していないbit出力が不正となります。

- ④ 区切りマーク アスキー OD（H） キャリッジリターンコード
 または & 文字コード
 キャリッジリターン、または&文字のうちのいずれかを指定します。
 通常はキャリッジリターンコードを使用してください。

4. 拡張出力状態（出力専用タイプbit47～24）の読取り方法

拡張デジタル出力状態読取りコマンド



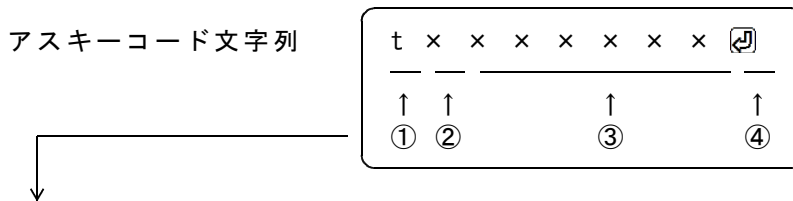
動作

t コマンドを受信すると、拡張デジタル出力状態をホスト（パソコン）に返します。レスポンスのデータ形式は、拡張デジタル出力状態読取りデータ形式に記述しています。

拡張デジタル出力状態読取りデータ形式

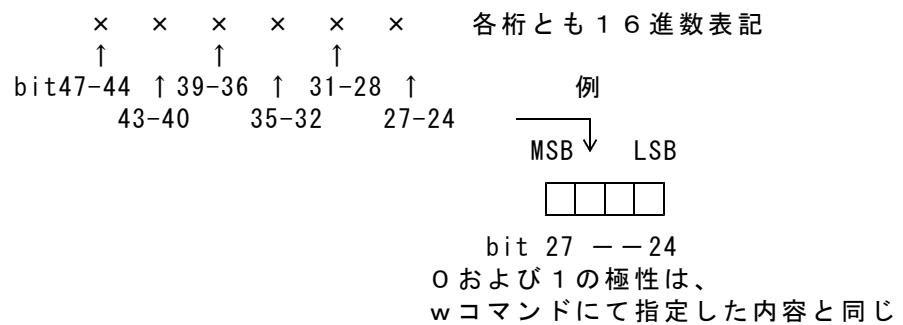
ご注意 本項にて説明するデジタル入力データ形式は、パソコンから送信するコマンドではありません。パソコンから送信する「tコマンド」に、RM5500A-OUTまたは、RM5500C-OUTが応答するデータ形式を説明しています。

(1) データ形式



- ① t (小文字) 応答識別文字コード
- ② 1~4 tコマンドで指定した接続ポート番号 (ID番号)
tコマンドにて指定したポートにI/Oユニットを接続していないときは、応答が0番となります。
(注) 出力専用タイプと異なるI/Oユニットを接続しているときは、なにも応答がありません。

- ③ 000000~FFFFFF 16進数6桁表記 (大文字)
デジタル出力状態内容。



常に固定長です。

- ④ 区切りマーク アスキー OD (H) キャリッジリターンコード
または & 文字コード
対応するコマンドの末尾と同じコードを返します。

(2) 動作

RM5500C-OUTまたはRM5500A-OUTは、tコマンドを受信すると、拡張デジタル出力状態をホスト (パソコン) に返します。

(完)

製造販売

ダックス技研株式会社

ホームページ

<http://www.dacs-giken.co.jp>

DACSRM55IOT17607A